

千葉県による公社等外郭団体に関する情報公開

平成17年7月25日作成

団体名	いすみ鉄道株式会社	県所管課	総合企画部交通計画課
代表者	代表取締役社長 田嶋隆威	電話	(043)223-2279
所在地	夷隅郡大多喜町大多喜264		
電話	(0470)82-2161		
設立年月日	昭和62年7月7日		
ホームページ アドレス	http://www.isumirail.co.jp/		
事業内容	鉄道事業法に基づく第1種鉄道事業法及び第2種鉄道事業 鉄道及び自動車運送事業者からの乗車券類の販売及び出改札業務の受託 旅行業法に基づく旅行業 飲食料品、日用雑貨品の販売及び土産品店の経営 広告業 前各号に付帯関連する一切の事業		

1 出資等の状況(H17.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	269,000
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	92,000	34.2%	1	
大多喜町	40,800	15.2%	2	
大原町	20,200	7.5%	3	
夷隅町	13,800	5.1%	5	
小湊鐵道(株)	38,000	14.1%	4	
(株)千葉銀行			6	
いすみ農業協同組合			7	
大多喜城ゴルフ倶楽部			8	
勝浦市	4,400	1.6%	9	
御宿町	4,400	1.6%	9	
岬町	4,400	1.6%	9	
(株)京葉銀行他33社	51,000	19.0%	-	

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H17.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	14年度	15年度	16年度
総資産	117,102	136,284	133,539
負債	9,204	7,111	9,123
資本	107,897	129,173	124,416
累積損益	161,102	139,827	144,584

(2)損益計算書

(単位:千円)

項 目	14年度	15年度	16年度
総収入 (=売上高+営業外収益+特別利益)	263,403	307,846	276,416
経常損益	175,481	153,915	159,002
当期損益	42,302	21,276	4,757
減価償却前当期損益	52,990	11,569	4,203

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	14年度	15年度	16年度
借入金残高	0	0	0
うち県からの借入金残高	0	0	0
うち県以外からの借入金残高	0	0	0
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0

公益法人については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

貸借対照表 資本 正味財産の部合計

累積損益 基本金等を除く正味財産額

損益計算書 損益計算書 収支計算書及び正味財産増減計算書

総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) 総収入(=当期収入合計-借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益 当期正味財産増減額-(特別損益項目の資産の増減+特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益 当期正味財産増減額

減価償却前当期損益 当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

5 県の財政支出の状況

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	14年度	15年度	16年度
委託料				
補助金・交付金・負担金	・いすみ鉄道の経営安定化を図るため、同鉄道の経常損失の1/2以内を大多喜町の基金を通じて補助。 ・鉄道施設において近代化施設の整備をするため、国、町と協調して補助(平成13年度のみ)	59,691	59,691	40,000
その他 (利子補給・税の減免額・出資金・貸付金・その他)				
合計		59,691	59,691	40,000

6 役職員の状況(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	14年度	15年度	16年度
常勤役員数	1	1	1
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員			
常勤職員数	30	29	26
うち県退職者			
うち県派遣職員	1	1	1

7 事務事業の見直しの状況

地元市町で構成する「いすみ鉄道対策協議会」において、いすみ鉄道が平成12年5月に策定した経営改善計画を見直し、平成15年7月の総会において、平成16～20年度にかけて5年間の経営改善計画の見直し案を承認し、当面の対応として、大多喜町鉄道経営対策事業基金(地元1市5町の基金)を取り崩して欠損補助を行う、ことを決定した。

経営改善計画(見直し後)の骨子は以下のとおり。

ア 組織別、職務別要員の見直しや高齢者等登用による人件費縮減など

イ 車両更新については、平成17年度から1両ずつ実施する予定であったが見送ることとし、代わって現有車両を平成20年度まで使用するための車両のリニューアル修繕を平成16年度から3年間で実施する。

ウ 車両を1両廃棄し、7両体制から6両体制とする。

エ 効率的な運行ダイヤへの見直しの実施と運行本数の縮減(大多喜～大原 17本 13本 大多喜～上総中野 15本 13本 平成16年4月1日実施)。

(参考) 公社等外郭団体の見直し概要(千葉県行政改革推進本部決定)

改革方針	別途検討
改革の期間	平成15年度から平成17年度
改革の概要	平成15年度に、地元市町で組織する「いすみ鉄道対策協議会」でいすみ鉄道の今後のあり方について検討する。 あわせて、今後の経営支援のあり方を、地元市町と協議する。
改革の効果	
改革に伴う課題	平成17年度から車両更新や一部橋梁の修繕が必要となることから、今後経費の増加が見込まれる。
その他	